

## 令和7年度 第2回社会教育委員の会 議事要点録

- 1 日 時 令和8年3月18日(水) 14:00~15:00
- 2 場 所 鈴鹿市役所本館12階 1204会議室
- 3 出席委員 池畑 直哉 衣斐 弘行 岩崎 翔太 樋口 よしゑ 坂 友美 山本 信一  
(以上6名)  
欠席 大西 依子
- 4 事務局等 文化スポーツ部文化振興課長 柳井谷 光教  
文化スポーツ部文化財課長 大窪 隆仁  
文化スポーツ部図書館長 平田 千尋  
地域振興部地域協働課長 松本 喜芳  
文化振興課生涯学習 GL 小林 直子  
文化振興課生涯学習 G 徳田 健介 (以上6名)
- 5 傍聴人 0人
- 6 会議概要 以下のとおり
  - (1) あいさつ  
文化振興課長よりあいさつ
  - (2) 座長選出  
樋口委員を座長に選出
  - (3) 社会教育基本計画2031に基づく令和7年度実行計画について
  - (4) 令和8年度社会教育分野主要事業(案)について  
まとめて各課、館長より説明

### 【質疑応答】

(樋口委員)

先日、富士山古墳から出土した冑(かぶと)の説明会をされてみえましたが、これから展示に向けて、どのように進みますか。

(文化財課長)

発掘に関しては、遺跡調査事業のほかに主要事業にあげていない、埋蔵文化財保護事業があり、遺跡調査事業が主に、国・県の補助を受けて、行うもので、埋蔵文化財の方は、主に市の単費で実施するものや、発掘調査につきましても、営業やアパート経営、店舗を建てたり、開発行為などをする際に、事業主負担で調査を行うものになります。

冑は、埋蔵文化財保護事業で行います。

(樋口委員)

これから市でやっていくということですか。

(文化財課長)

発掘をするところまでは令和7年度事業で行いましたが、来年度埋蔵文化財の予算で行う予定です。きれいに土を取り、見ることができるようになるには、一年以上かかる予定です。

(坂委員)

公民館についてですが、飲食が可能になるということで、緩やかな感じになるイメージがあります。今の時代には必要と感じておりましたのでよかったと思います。

(山本委員)

二十歳のつどいに久しぶりに参加しました。高校時代がコロナの頃で、クールな感じで、そのような世代なのかなという感想です。また、イベントになると、ほとんどの方が退出されているような状況だったので、もうひと工夫要るのかと思います。来年も同じような世代だと思うので、考えていかなければならないというのが感想です。

この10月から部活動が地域展開されるということですが、中学生や小学生は、ほとんどの子がやってもらうという受け身の形の存在です。育成市民会議では、来年度の方向性として中学生が地域の担い手となるような行事を計画しています。社会教育でも、中学生を担い手として、一緒になってやるという場面があつていいのかなと思います。例えば、図書館のボランティアや公民館活動で中学生が担い手になるようなことがあるのか、或いは文化財でも、何かお手伝いをするような場面に中学生を立ち合わせるようなことです。

(文化振興課長)

二十歳のつどいについてですが、実行委員になってくれた方が、6月から月に1回から2回程度、自主的にいろいろイベントを考えながら、本番に向けてどういうイベントをしようかと調整を進めています。新しい取り組みとして、YouTuber を呼ぶ予定でしたが、どうしても出演できなくなったため、VTR 映像を作ってくださいました。イベントのよさこい、VTR までは残っていただいていたのですが、緞帳が下りると、そこでイベントが終わってしまったような雰囲気もあり、一斉に退出してしまいました。来年の実行委員の方へ引き継ぎをして、次年度に生かしながら、進めていきたいと思います。

市民会議の方で、高専・地域の先生や生徒さんに助けていただきながら、色々なイベントをしてもらっています。その中に、中学生の方も入ってもらうことが、非常にありがたく、良い取り組みと感じます。また、部活動の地域展開については、文化振興課としては、吹奏楽、コーラスなどは別途、先生と調整をしていきます。ただ、働き方改革という面もありますので、そちらもしっかり調整しながら、進めていきたいと考えています。

(樋口委員)

公民館や図書館などに、中学生が担い手として一緒になって考えていけますか。

(文化振興課長)

文化振興課が所管する部分は、指定管理者が企画するイベントとしては、中学生が応募できるものがあります。スタッフ側として教えたり、手伝いをしたりするということは、提案として、指定管理者に投げかけることは可能です。また、小学生を対象に、裏方の体験してもらったこともあります。また、神戸高校の放送部の方には、イベントのときに、アナウンスをってもらうというのはやっています。中学生というのは前向きに考えていけるところがあると思います。

(坂委員)

図書館のボランティアを支援して、育成していくという考えもありますか。図書館のボランティア支援というのは、講座の参加が百何十名ということですか。

(図書館長)

いえ、本の修理や、配架の整理なども含めてです。

(坂委員)

百何十名の方が皆さん活躍されたということですか。

(図書館長)

毎週来ていただく方もありますが、人によって様々です。

(坂委員)

登録の中に学生がいますか。

(図書館長)

学生の年齢層はありません。

(池畑委員)

部活動の地域展開を進めていますが、運動部に限らず、文化部も受け皿となるところが、差があるのか心配です。地域の方の力を借りないと、進まないと思います。

(文化振興課長)

子どもたちの活躍する場がなくなってしまうということは避けたいです。先生の負担軽減も、大事な要素でもあります。文化振興課と補助している文化団体や、文化振興事業団等と協力して継続してできる手段を検討していきます。

(衣斐委員)

富士山古墳で冑という三重県で初めての発掘があり、例えば、自主的に参加している中学生もいると思います。指導していただく先生、先輩がいると興味を持ったり、関心が広がったりしていくと思います。

(文化財課長)

部活動と少しニュアンスは違いますが、発掘体験をしてもらう場を来年度に予定しています。三重大大学の紹介で、発掘現場のパート職員に専門知識のある学生に参加してもらい、より興味を持っていただくこともあります。

(衣斐委員)

二十歳のつどいの時に全員退席してしまうということは、今までにもありましたか。

(文化振興課長)

今年は73.1%の参加者が会場には入ってもらいました。座席数が1,275席のため、式典の時はほぼ満席でした。式典が終わった後、イベントの準備があり、クイズが始まる時には8割くらいの方が退席されていました。

3月20日号の広報で、来年の開催と新しい実行委員の方を募集します。1回目の実行委員会が6月初旬で、昨年状況を説明しながら、一緒に詰めていきます。

(衣斐委員)

この形式になって何年ぐらいですか。

(文化振興課長)

令和元年から実行委員の数も、過去から比べると若干少なくなっていると思いますが、毎年5名ほどです。今年もまた、立候補してくれるといいと思います。

(坂委員)

二十歳のつどいに参加される方は、年々減っているんですか。

(文化振興課長)

減少傾向ですが、参加人数ですと、令和元年度は1,100人ぐらいでしたが、2年が1,600人とか3年が1,500人、1,100、1,200、1,200、で、今年は1,398人です。

(樋口委員)

それでは、社会教育基本計画に基づく令和7年度実行計画について、令和8年度社会教育分野主要事業(案)についてということは了承いただいたということによろしいですか。ありがとうございます。

それでは事項書の5のその他になりますが、事務局の方、お願いします。

(5) その他について

事務局より令和7年度活動一覧について説明。令和8年に開催される東海北陸社会教育研究協議会三重県大会についての案内。

(樋口委員)

それではこれによって事項書すべて終了しましたので、これで退任させていただきます。

(事務局)

これで令和7年度第2回社会教育委員の会を終了いたします。